

IP

最新刊 ラーニングシリーズ インタープロフェッショナル 保健・医療・福祉専門職の連携教育・実践

[全5巻] (すべてB5判・2色刷)

近年、保健・医療・福祉領域において、さまざまな専門職が互いの専門性について学ぶ「IPE（多職種連携教育）」、そしてそうした相互理解をもとに連携して働く「IPC・IPW（多職種連携協働・実践）」の重要性が注目されています。本シリーズは、そうした連携のために必要不可欠な概念として注目されている「IP（インタープロフェッショナル）」の教科書です。

IPを学び、実践する！

IPを学ぶ学生、専門職種、研究者など、あるいはその学習環境に応じて①IPの理論研究、②教育現場での教授ツール、③学生・初学者向けの入門テキスト、④臨床現場での体制づくりのためのガイド、⑤事例集というそれぞれ特徴的なアプローチによる全5巻構成になっています。さらに、異なる巻同士で互いの内容に関連性がある箇所には「リファレンス」を設け、より深い学習が可能です。



① IPの基本と原則

藤井博之 ● 編著

● 112頁 定価(本体2,000円+税) ISBN978-4-7639-6029-0

② 教育現場でIPを実践し学ぶ

矢谷令子 ● 編著

● 132頁 定価(本体2,800円+税) ISBN978-4-7639-6030-6

③ はじめてのIP

連携を学びはじめる人のためのIP入門

大嶋伸雄 ● 編著

● 240頁 定価(本体2,600円+税) ISBN978-4-7639-6031-3

④ 臨床現場でIPを実践し学ぶ

藤井博之 ● 編著

● 128頁 定価(本体2,800円+税) ISBN978-4-7639-6032-0

⑤ 地域における連携・協働 事例集 対人援助の臨床から学ぶIP

吉浦 輪 ● 著

● 168頁 定価(本体2,400円+税) ISBN978-4-7639-6033-7



各巻の特徴と読者対象

IPを理解する！ IPに関心がある全ての方におすすめ！

①IPの基本と原則 [藤井博之 編著]



IPを理解するうえで欠かすことのできない基本的な知識や原則を詳しく解説した、IPに関心がある全ての人にとって必須の基本書。IPの発展の歴史的な経緯や、IPがなぜ現場で求められているかの背景、日本におけるIPの現状などを詳しく解説しています。また、IP研究のレビューや、世界各国で実践されているIPに共通するコンピテンシーをまとめています。他の巻を読むにあたって、まずは知っておくべき内容が網羅されているので、第1巻を出発点として、自分の興味関心のある領域に沿って他の巻へと学習を進めていくことが可能です。

IPをどう教える？ 教員の方におすすめ！

②教育現場でIPを実践し学ぶ [矢谷令子 編著]



主に保健・医療・福祉専門職を養成する学校の教員のためのIPE入門書。教員としての基本的な知識を身につけたうえで、それぞれの学校でIPEを推進し、学生へ連携を教授する方法を解説しています。実際に著者が所属していた大学でIPEを実践した経験に基づく事例や方法を数多く紹介しているので、IPEの実践を目指す教員の方は、今後自身で授業やプログラムを編み出していくための参考にすることが可能です。IPEを実践している教員の実践報告や、実際にIPEを受けた学生の声なども紹介し、IPEを志す教員にとって必携の一冊となっています。

IPって何？ 学生・初学者の方におすすめ！

③はじめてのIP [大嶋伸雄 編著]

連携を学びはじめる人のためのIP入門



主に学生・初学者の方を対象にしたIPの入門書。IPE、IPC (IPW)、連携といった言葉に関心はあるけれど、何から勉強すればよいかわからないという方は、本シリーズの①と共にまずはこの本から学びはじめることがお勧めです。IPや連携、チームといった基本的な概念を詳しく解説し、またさまざまな保健・医療・福祉の専門職種とその仕事内容を紹介しているので、連携して働く可能性のある他の職種についての理解を深めることができます。重要な言葉や概念には「キーワード」や「学習のポイント」の解説を配置し、非常に学習しやすい構成になっています。

IPで現場を変える！ 臨床家の方におすすめ！

④臨床現場でIPを実践し学ぶ [藤井博之 編著]



すでに臨床現場で働いている専門職の方を主な対象とした、実践のためのIP入門書。病院施設や地域ケアの現場で、周りの専門職と一緒にIPを実践しながら学んでいくための方法を詳しく解説し、職場内での勉強会などを進める際に活用することができます。さらに、IPを実践するうえで臨床家が気をつけなくてはならない観点や、共有しておくべき共通理解を提示しています。全国各地でIPを実践している臨床家の方々の報告も数多く紹介し、また特に連携が必要となる被災地医療支援におけるIPの実践も紹介しています。

何が現場の問題なのか？ IPに関心がある全ての方におすすめ！

⑤地域における連携・協働 事例集 [吉浦 輪 著]

対人援助の臨床から学ぶIP



病院施設や地域におけるさまざまな困難事例を通して、専門職がどのように対象者を理解し、協働していけばいいのかを考え、学ぶことができる事例集。患者・当事者の困難な状況のみならず、専門職側に問題・原因がある事例も数多く提示され、現場の複雑な問題に対応する考え方を身につけることができます。また、課題・問題別のサブテーマが設けられ、自身の関心のあるテーマに沿って学習することも可能です。学校教育や臨床現場でのディスカッションの材料として幅広く使用することが可能で、IPを学ぶために必携の事例集となっています。